

なのみひな祭り



なのみ〜ず便り



平成31年4月1日発行
4月号
介護老人保健施設なのみ
中津市宮夫14-1
No.93

H31.3.3 (日) 今日、「ひなまつり」です。古来日本では、女子の健やかな成長を祈る節句の年中行事として慣れ親しんできました。

入所されていた利用者様のご家族より頂いた「由緒ある雛飾り」も飾り始めて今年で7年目となりました。雛飾りをバックに、利用者様おひとりずつ澄ましたお顔で「はい！にっこり」と記念撮影。素敵な笑顔を見せてくださいました。昼食は「とり天にちらし寿司」「高野豆腐・すまし汁」に季節の果物「いちご」を色彩よく添えて豪華なメニューとなりました。また、おやつは「さくら餅とあまざけ」に舌鼓。利用者様は皆、眼を細めていました。ゆったりとした日曜日、一足早い春の訪れを感じる一日となりました。



はい！チーズ



はい！チーズ



お知らせ

7月31日で、介護保険証等の有効期限が切れます。新しい保険証が交付された方は受付までお持ち下さいませ。

※各市町村より郵送されます。



行事予定表

毎月第2(月)散髪:美容

毎月第4(月)散髪:美容

散髪日は変更がある場合があります。ご了承くださいませ。
次回のなのみ〜ず便りは9月発行予定です

節分とは・・・

節分とは本来、「季節を分ける」ことを意味しています。季節が移り変わる「節日」を指し、1年に4回「立春・立夏・立秋・立冬」とそれぞれの前日を指すものでした。その中でも厳しい冬の季節を乗り越えた後の「立春」は1年の始まりとして特に尊ばれたため、次第に「節分」といえば「立春」の前日のみを指すようになっていきました。また「立春」が一年の始まりである新年と考えれば、立春の前日である「節分」は大晦日にあたります。そのため大晦日でもある「節分」には、一年の災いを払うための厄払いが執りおこなわれているのです。そして、「恵方巻き」を食べる習慣も邪気を追い払う厄払いの行事のひとつとして今も受け継がれているのです。ちなみに恵方巻き(巻きずし)は、「福を巻き込む」にも通じ縁起が良いとされています。



節分